

平成26年度

湯沢砂防だより

No.30

平成26年 9月 30日

国土交通省 湯沢砂防事務所

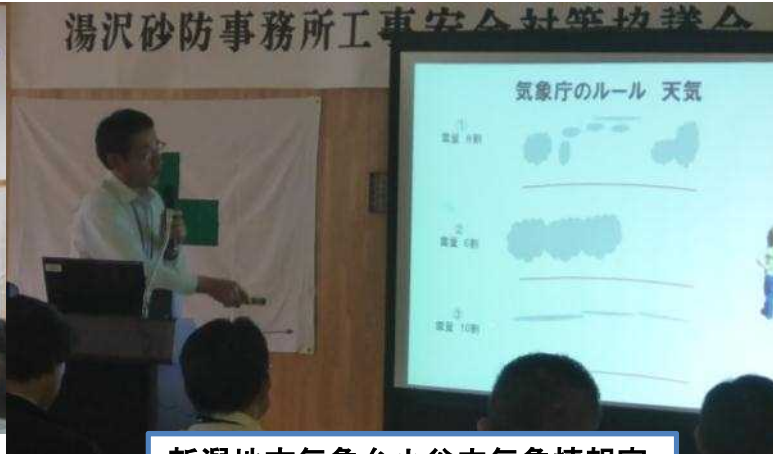


防災・減災
新潟プロジェクト
2014

湯沢砂防事務所 建設労働災害防止大会を開催し、
工事事故「0(ゼロ)」の決意を新たにしました。



小出労働基準監督署松本署長
よりご挨拶と講話を頂戴しました。



新潟地方気象台小谷内気象情報官
より講話を頂戴しました。



安全スローガンを読み上げる
涌井さん((株)涌井土木)



安全宣言を読み上げる
鈴木さん((株)大石組)

湯沢砂防事務所が発注した工事等での事故防止のため、「湯沢砂防事務所工事安全対策協議会」を組織し、湯沢砂防事務所と工事の施工者等が一体となって様々な活動をしています。

その一環として、9月26日(金)午後、湯沢カルチャーセンターにおいて、湯沢砂防事務所職員と工事の現場責任者等の関係者約100名が一堂に会し、建設労働災害防止大会を開催しました。

大会では、小出労働基準監督署長、新潟地方気象台気象情報官より講話を頂戴するとともに、安全スローガン発表、安全宣言を行い、「事故0(ゼロ)」に向け決意を新たにしました。

平成二十六年

湯沢砂防事務所工事安全対策協議会 安全スローガン

最優秀賞

決めたこと 守る勇気と続ける努力

基本に忠実 安全作業

株式会社 涌井土木 滝沢 了
(石黒川砂防堰堤群工事)

優秀賞

・慣れた作業に危険が潜む 省く点検 守ろう作業手順

株式会社 三友組 高橋 柔(下十二平地区地すべり対策その2工事)

・安全にこれで終わりの言葉なし 見て見ぬふりが事故招く 言って助かるその言葉

株式会社 カネカ建設 関 俊介(涸沢第4号砂防堰堤その3工事)

・整理整頓 見て気持ちいい現場に事故は無し

丸勝建設 株式会社 池田 忠弘(南平アシ沢砂防堰堤本体工事)

安全宣言

湯沢砂防事務所工事安全対策協議会及び各会員は、安全パトロール、安全講習会や安全訓練を実施すると共に、安全・施工研究発表会等による安全対策技術の向上を図り、建設労働災害や公衆災害の撲滅に関係者が一丸となって取り組んでまいりました。

平成二十三年七月の「新潟・福島豪雨」では、中越地方を中心に記録的な豪雨となり、南魚沼市土沢・小川地区の土石流を始め登川など信濃川水系の各支川等で二百箇所以上の土砂災害が発生しました。この災害では、四人の尊い命が奪われ、多くの住家が床上・床下浸水等の被害を受けるとともに、人々の生活を支える各種公共施設が甚大な被害を受けました。

また、平成二十五年度においても、融雪期に発生した大白川地区の地すべりや台風十八号による豪雨等により管内全域に渡り土砂災害が頻発しています。

住民の皆さんが一日も早くこれまでの生活を取り戻し、安全・安心な生活を送ることができるよう、平成二十五年度補正予算による工事も含め、例年以上の工事を施工しています。

これらの工事は、地形や天候などの自然条件が特に厳しく、土石流災害や法面崩壊など、わずかな気の緩みも許されない条件のため、各工事現場の安全管理がより一層重要となつていきます。

加えて、近年、建設業界への若者の参入減少や、経験豊かな建設技能者の離職が顕在化しつつあり、安全で働きやすくやりがいのある現場環境の創出がより一層重要になっています。

当協議会は、安全で快適な現場環境を作り、工事関係者全員が笑顔で竣工の日を迎えられるよう、一丸となつて安全意識と、安全対策技術の向上を図り、建設現場の労働災害防止等に取り組むことをここに宣言します。

平成二十六年九月二十六日

湯沢砂防事務所工事安全対策協議会

平成二十六年建設労働災害防止大会